

情報通信人材研修

(1)	コース番号	T016	
(2)	コース名称	データサイエンス初級	
(3)	受講料	会員 : 55,000 円 (一般 : 85,000 円)	
(4)	達成目標 または育成目的	データサイエンスについて学習することで、データサイエンスの定義やデータを正しく扱うことの重要性を理解し、データを分析するための統計手法を習得します。さらにデータ分析が AI やビジネスにどのように活用できるか知識を深めます。	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ Python チュートリアルを受講済み、または「Python3 エンジニア認定基礎試験」合格者と同等以上の知識を有する方 ・ Python を利用したデータ分析について興味のある方 	
(6)	日程(日数)	令和5年11月28日(火)~30日(木)	3日間
(7)	時間(時間数)	各日 10:00~17:40	20時間
(8)	会場	リモート形式(Zoom)	
(9)	定員	20名(最小催行人員8名)	
(10)	講師	氏名	谷内 剛
		所属	谷内マネジメントオフィス
		略歴	姫路工業大学(現:兵庫県立大学)理学部物質科学科卒業 独立系ソフトハウスにて、通信系システムの開発に従事し、平成23年に独立、現在に至る。中小企業のIT経営支援の傍ら、様々なテーマのセミナー講師を務める。
(11)	内容	第1日目	<ol style="list-style-type: none"> 1. データ活用概論 2. データサイエンスとは 3. データサイエンスの役割 4. データサイエンスの目的 5. データサイエンスの例 6. データの情報セキュリティ・倫理 7. データの収集・蓄積 8. 統計分析とは 9. Pythonでの分析演習(準備) 10. Pythonでの分析演習①
		第2日目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母集団と標本(初級レベル) 2. データの可視化(初級レベル) 3. 記述統計 4. 推測統計 5. 検定(初級レベル) 6. 検定結果をビジネス活用するには 7. Pythonでの分析演習②
		第3日目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相関 2. 回帰分析 3. AIとデータサイエンスの関係性 4. AIによる回帰分析 5. AI開発の前処理とデータサイエンス 6. 画像処理 7. データサイエンスのサイクル 8. Pythonでの分析演習③
(12)	その他(使用機材等)	Google Colaboratory、Google Drive が使用可能な Google アカウントが必要です。会社等からリモート参加する場合は、セキュリティポリシー等により使用不可となっていないか確認してください。	